



あぐりあす Agrías

普及センター情報 255号
令和3年3月5日発行
久慈農業改良普及センター
TEL：0194-53-4989
FAX：0194-53-5009

～掲載内容～

～ページ～

○新たに5名の農業農村指導士・青年農業士が誕生！・・・1

農業農村指導士として中屋敷稔さん（久慈市）、大鹿糠正行さん（久慈市）、北村卓也さん（洋野町）、青年農業士として越戸翔さん（久慈市）、本波済さん（久慈市）が認定されました。

○令和2年産水稻の生育状況まとめ&令和3年産水稻の育苗の注意点・・・4

令和2年産水稻の生育診断圃の結果を振り返るとともに、令和3年産水稻の育苗のポイントをお伝えします。

○普及現地情報（5件）・・・5

「高単収生産者の技術を知ろう！～ほうれんそう若手生産者研修会を開催しました～」
「春の味覚！促成たらの芽の出荷が始まりました」
「食の匠による郷土料理伝承会を開催しました」
「ヤマブドウ新系統のワイン適性評価会を開催しました！」
「意見交換会で広がる、農福連携の取組」

○菌床しいたけの菌床製造地表示リーフレット 別添

林野庁から菌床しいたけの菌床製造地表示リーフレットが配布されていますので、お知らせします。

新たに5名の農業農村指導士・青年農業士が誕生！

令和3年2月4日、サンセール盛岡（盛岡市）において、岩手県農業農村指導士認定証書交付式が開催され、今年度新たに認定された農業農村指導士の方々に岩手県知事からの認定証書が交付されました。

当管内では、農業農村指導士として中屋敷稔さん（久慈市）、大鹿糠正行さん（久慈市）、北村卓也さん（洋野町）、青年農業士として越戸翔さん（久慈市）、本波済さん（久慈市）が認定されました。



なかやしき みのる

中屋敷 稔さん（久慈市 農業農村指導士）

【経営内容】肉用牛（短角種一貫、黒毛和種繁殖）

【経歴および実績】平成24年に就農し、平成28年からJA新いわてくじ短角牛肥育部会長を務め、県内外に対する「山形村短角牛」の積極的なPR活動や販路拡大などの部会活動を主導しています。経営においては、分娩看視に係るICT機器を導入し、看視作業の省力化と分娩事故の防止による生産性向上のほか、高能力の黒毛和種繁殖雌牛の受精卵を日本短角種繁殖雌牛に移植し、黒毛和種子牛を生産することで販売額向上を図っています。

また、農業大学の研修等を積極的に受け入れるとともに、牧野資源など中山間地域の環境を活かした短角牛生産技術と農家生活の伝承を通して、後継者の育成や消費者交流にも尽力しています。

【将来への意向】

消費者団体との交流や学生の農業体験の受入れを継続し、山形村短角牛の素晴らしさを広め、地域の活性化につなげていきたい。



おおかぬか まさゆき

大鹿糠 正行さん（久慈市 農業農村指導士）

【経営内容】菌床しいたけ、水稲、りんご、花卉

【経歴および実績】平成16年に就農し、現在は菌床しいたけ、水稲、りんご、花卉の複合経営を営んでおり、年間を通じた効率の良い生産体系の確立に取り組んでいます。これまでに、久慈市農村青年クラブの会長や新岩手農業協同組合青年部久慈支部長等を務めたほか、現在は久慈市の農業委員会や農林水産審議会の委員を務めるなど、地域農業の牽引役となっています。

また、地域の食文化である豆腐みそ田楽の伝承活動や久慈市内の中学生を対象とした職業講演会「キャリアオーケストラ」の講師など、農業や食育に関連する事業を通じて地域の魅力を発信し、後進の育成にも努めています。

【将来への意向】

今後は、地域の指導的立場として模範となるとともに、地域の担い手として研修の受入れ等によって農村振興に貢献していきたい。



きたむら たくや

北村 卓也さん（洋野町 農業農村指導士）

【経営内容】施設野菜、露地野菜

【経歴および実績】平成21年に就農し、雨よけほうれんそうを中心とした経営を行っています。現在では久慈地域で最大規模の施設園芸経営体であるとともに、作業の大幅な省力化を目的としたほうれんそうの機械化一貫体系のモデル的経営体となっています。これまでに、洋野町農業青年クラブ会長や久慈地方農村青年クラブ連絡協議会副会長等を務めたほか、現在は新岩手農業協同組合理事及び洋野町農業委員も務めており、地域の農業振興を牽引しています。

また、久慈地域のほうれんそう若手生産者ととも「ほうれんそう省力化研究会」を立ち上げ、女性高齢者でも作業可能な作業の省力化に向けた技術実証に取り組んでいます。

【将来への意向】

生産規模の維持拡大を通じて地域の雇用創出に貢献するほか、高校生等の研修及び農業体験の受入れを積極的に行い将来の後継者育成に努めていきたい。



こしど しょう

越戸 翔さん（久慈市 青年農業士）

【経営内容】菌床しいたけ

【経歴および実績】平成23年に親が経営する有限会社越戸きこの園に入社、平成30年に同社代表取締役役に就任し、東日本最大規模の菌床しいたけ経営を行っています。経営においては、環境制御等最新技術の導入による生産量向上のほか、従業員の役割分担を明確化し作業の効率化を図るなど、持続的かつ安定的な経営体制の構築に努めています。

また、県内外からの視察や地元の小・中・高校生の農業体験学習を積極的に受け入れており、青年や後継者の育成に意欲的に取り組んでいるほか、岩手県農業法人協会岩手アグリ新世会の理事として活動するなど集団活動において指導的立場で積極的に参画しています。

【将来への意向】

今後も東日本最大の菌床しいたけ生産企業として、効率的に規模拡大を進め、地域の産地力向上や後継者育成に貢献していきたい。



ほんなみ とおる

本波 済さん（久慈市 青年農業士）

【経営内容】施設野菜

【経歴および実績】平成25年に就農し、雨よけほうれんそうを主体とした野菜経営を行っています。農業用ハウスの自力施工や遊休ハウスの活用等により効率的に規模拡大を図っているほか、計画的に機械化一貫体系の整備を進めているなど、久慈地域でも有数の大規模園芸経営体です。さらに、農福連携に取り組み、地域住民との連携活動や雇用創出にも貢献しています。

また、就農と同時に久慈市農村青年クラブや久慈地方農村青年クラブ連絡協議会及び新岩手農業協同組合青年部久慈支部に加入し、若手農業者として率先して集団活動に携わっています。

【将来への意向】

新規参入者や担い手を増やし、将来にわたってほうれんそう産地を維持拡大していくため、機械化一貫体系を整備し、魅力ある農業を展開していきたい。



○農業農村指導士等の認定者数（令和3年2月4日現在、令和2年度満了者に加え新規認定者も含む）

エリア	令和2年4月1日時点	新規認定 (令和3年2月4日)	合計
全県	194名	21名	215名
うち久慈地域	15名	5名	20名

○久慈管内で農業農村指導士等に認定されている方々（久慈地域農業農村指導士等連絡会）

区分	認定年度	氏名	市町村	経営内容
農業農村指導士	平成15年	田村 英寛	久慈市	肉用牛、酪農
	平成17年	平谷 東英	野田村	養豚、果樹
	平成18年	長坂 信一	久慈市	野菜
	〃	長坂 亜紀子	久慈市	野菜
	平成22年	大矢内 利男	久慈市	菌床しいたけ
	平成23年	佐々木 富明	久慈市	酪農
	平成25年	南 エイ子	洋野町	養鶏、農産加工
	〃	鹿糠沢 津嘉	野田村	水稲、野菜
	平成26年	戸崎 武幸	久慈市	菌床しいたけ
	〃	下川原 幸子	洋野町	果樹、農産加工
	平成28年	塩倉 康美	洋野町	酪農
	令和元年	塩倉 健一	洋野町	酪農
	令和2年	中屋敷 稔	久慈市	肉用牛
	〃	大鹿糠 正行	久慈市	菌床しいたけ、水稲、果樹、花卉
〃	北村 卓也	洋野町	野菜	
青年農業士	平成27年	田村 憲史	久慈市	酪農、肉用牛
	〃	田代 人貴	洋野町	酪農
	令和元年	堤内 裕子	洋野町	酪農
	令和2年	越戸 翔	久慈市	菌床しいたけ
	〃	本波 済	久慈市	野菜

※岩手県農業農村指導士とは

地域のリーダーとして指導活動ができる識見と能力を有する年長の農業者や、積極的に農業や集団活動に取り組む青年農業者等、地域の農業・農村の振興に意欲的に取り組む優れた農業者として県が認定した方。

岩手県農業農村指導士は、年齢等の認定要件によって「農業農村指導士」と「青年農業士」に区分される。

- ・農業農村指導士：39歳以上で65歳までに概ね10年以上認定要件に掲げた活動ができる者。
- ・青年農業士：39歳までに概ね5年以上認定要件に掲げた活動ができる者。

令和2年産水稻の生育状況まとめ & 令和3年産水稻の育苗の注意点

普及センターでは、管内の水稻の生育状況を把握して、適時適切な栽培指導を行うため、生育診断圃を設置しています。令和2年度は生育診断圃を4地点に設置しました。今回はその結果を振り返るとともに、令和3年の育苗のポイントをお伝えします。

令和2年産水稻の生育

令和2年は、苗の生育は良好で、田植えも適期に終え、活着後の生育は順調でした。出穂期は概ね平年並の8月上旬になりましたが、7月中旬の低温の影響を受けた地点は、平年よりも遅れました。出穂期以降、気温は高く推移し、登熟は順調に進みました。成熟期は、いずれの圃場においても平年と比べて早くなりました。稈長・穂長はいずれの圃場でも平年より短めで、穂数は平年を上回りました（表1）。

収量は、 m^2 当籾数、登熟歩合、玄米千粒重の掛け算で推定できますが、 m^2 当籾数が平年並から多かった圃場では、収量が平年を上回りました。玄米千粒重は平年を下回りました。斑点米カメムシ類の影響により、落等相当の地点もありましたが、一等相当の地点が多く、品質はおおむね良好でした（表2）。

表1 水稻生育診断圃 成熟期調査結果

診断圃 設置場所	品種名	出穂期 (月/日)		成熟期 (月/日)		稈長 (cm)		穂長 (cm)		穂数 (本/ m^2)		有効茎歩合 (%)	
		本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年差
久慈市大崎	いわてっこ	8/9	-1	9/23	-6	76.3	-3.4	16.6	-1.2	373	81	66.8	-19.7
洋野町	いわてっこ	8/7	5	9/18	-1	77.3	0.6	16.0	-1.3	572	117	66.5	-9.7
阿子木	あきたこまち	8/8	4	9/20	-1	78.2	-0.5	15.5	-1.4	460	100	65.4	-10.9
洋野町宿戸	いわてっこ	8/9	-2	9/24	-6	71.8	-4.5	17.1	-0.3	456	94	70.1	-6.4
野田村泉沢	いわてっこ	8/10	1	9/23	-4	70.3	-6.4	15.1	-1.7	511	107	64.6	-9.8

表2 収量調査結果

診断圃 設置場所	品種名	年度	精玄米重 (kg/a)		玄米千粒重 (g)		m^2 当総籾数 (千粒)		登熟歩合 (%)		品質 (検査等級)
			本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年差	
久慈市大崎	いわてっこ	本年	40.3	82	22.0	96.1	20.8	77.9	89.8	2.8	2.0
洋野町	いわてっこ	本年	62.9	123	21.7	95.6	32.9	123.7	85.6	-2.4	7.0
阿子木	あきたこまち	本年	60.0	115	20.9	93.7	32.4	114.5	92.7	3.8	7.0
洋野町宿戸	いわてっこ	本年	56.5	114	22.1	99.1	27.6	97.2	94.0	9.6	1.0
野田村泉沢	いわてっこ	本年	43.8	89	21.3	93.8	23.9	90.9	91.8	5.4	1.0

※平年値は平成27年～令和元年の5ヶ年平均(大崎は平成29年を除く)
 ※洋野町阿子木の「いわてっこ」と「あきたこまち」は同一ほ場
 ※数字が小さい方が良い等級を示す

令和3年産水稻の育苗の注意点

- 令和2年の天候の影響により、令和3年産の播種用の籾は、割れ籾が多くなっています。健苗育成のため、適正な浸種水温（12～15℃）、期間（7～10日間）を守りましょう。
- 種子消毒及び育苗時の適切な温度・水管理を徹底して、細菌病類の発生を防ぎましょう。近年、育苗中の高温時のシートによる被覆で、細菌病が発生する事例が見受けられます。高温時はシートをはがして温度を下げるなど、気温に応じた管理を行いましょう。

普及現地情報
令和3年3月1日
久慈農業改良普及センター
記述者 及川優介

高単収生産者の技術を知ろう！ ～ほうれんそう若手生産者研修会を開催しました～

久慈地方農業農村活性化推進協議会では、ほうれんそう若手生産者の技術向上及び関係機関・団体の指導力向上を目的とした「久慈地域ほうれんそう若手生産者研修会」を2月24日（水）に、開催し、生産者6名、関係機関・団体8名が参加しました。

内容としては、普及センターから令和2年度の調査結果から分かった夏期高単収につながるかん水、土づくりのポイントについて発表した後、栽培を振り返る意見交換を行いました。

参加した若手生産者から

は、「今まで播種前かん水が十分に出来ていなかったため、次作からは播種前かん水を徹底したい」「ベテラン農家の栽培方法を知ることができ、意見交換会で直接話すことができて良かった」などの感想があり、次作の目標や栽培技術向上に対する熱意を仲間と共有できた様子でした。

令和3年度には、若手生産者研修会を複数回開催し、座学その他、高単収生産者の圃場巡回なども行う予定です。現地での研修を通じて、より一層の若手生産者の技術力向上が期待されます。



ほうれんそう栽培の技術的ポイントについて研修を受ける参加者



令和2年度のの栽培を振り返り、意見交換を行っている様子

普及現地情報
令和3年3月2日
久慈農業改良普及センター
記述者 川嶋美紀

春の味覚！促成たらの芽の出荷が始まりました

洋野町山菜栽培研究会は、平成24年に設立し、「うるい」「たらの芽」「行者にんにく」を重点3品目として掲げ、産地化に向け活動しています。

促成たらの芽の本格的な出荷開始に向け、令和3年2月18日に開催された「促成たらの芽目揃え会」には、研究会会員16名が参加しました。目揃え会では、農協から出荷規格や出荷方法の説明、普及センターからたらの木の生育を良くするポイントや採穂する時期などについて説明を行いました。

その後、研究会会長が持参

した芽つきの穂木により、実際の収穫物を確認し、品質・形状等を評価しながら生産者の目合わせを行いました。「早く育てようとしてハウス温度を高くすると芽が細くなるので、温度は15℃くらいが良い。」「若いたらの木が枯れたときは、根元から切り戻すと新しい芽が出る。」など、高品質・高単収を目指す生産者同士で、積極的な情報交換が行われました。

今後も、町による株購入費用助成や普及センターによる栽培指導を継続し、生産量アップに向け支援していきます。



収穫前のたらの芽の品質を確認している様子



目揃え会の様子

食の匠による郷土料理伝承会を開催しました

久慈地方農業農村活性化推進協議会では、地域の食文化を広く伝承するため、久慈地区合同庁舎栄養実習室において、2月22日、食の匠による郷土料理伝承会を開催しました。

伝承会には、久慈市から9名の方が参加し、食の匠の田中和子さん、大向ヨシエさんを講師に「小豆ばっとう」「つぼ」の調理実習を行いました。

「小豆ばっとう」は、うどんを小豆汁に入れた食べ物です。参加者は食の匠に、うどんの生地を広げ方や、切り方

を教わりながら、懸命に作っていました。

「つぼ」は、野菜や干したアナゴを使った煮物で、初めて知る参加者が多く、アナゴの下処理方法など、熱心に食の匠から指導を受けていました。

料理が出来上がり、参加者からは「懐かしい郷土料理に触れることができた」「家でも作りたい」などの声があり、今回の伝承会に参加したことで、地元の郷土料理を大切にしようとする想いが一層高まったようです。



食の匠にうどんの切り方を
教わる参加者



出来上がった郷土料理（手前左：
小豆ばっとう、手前右：つぼ）

普及現地情報
令和3年3月3日
久慈農業改良普及センター
記述者 菅野 千聖

ヤマブドウ新系統のワイン適性評価会を開催しました！

久慈農業改良普及センターでは、ヤマブドウについて、ワインの評価向上と原料需要の確保に向け、新たな系統の栽培特性や醸造適性把握に取り組んでいます。

この度、新系統の「高森早生系」と「佐藤系」で試作したワインの評価会を開催し、生産者、地元ワイナリー、関係機関等 19 名が参加して意見交換を行いました。

この会では、普及センターから新系統の生育特性や収量性などの情報を提供した後、岩手県工業技術センターから

試験醸造したワインの説明をいただきました。

参加者によるワインの試飲では、「高森早生系」は「色・香りに優れ、味のバランスも良い」、「佐藤系」は「個性的な香り」とビターで厚みのある味」といった声があり、それぞれの特徴・個性が明らかとなり、いずれの系統もワイン加工適性があるとの評価が得られました。

普及センターでは、今回の結果も踏まえ、今後も、新系統の普及・拡大に向け支援していきます。



系統毎にワインの色・味・香りが大きく違っていました。



シニアソムリエでもある涼海の丘ワイナリー（野田村）の坂下所長からも解説いただきながらテイastingしました。

普及現地情報
令和3年3月3日
久慈農業改良普及センター
記述者 鋤形幸平

意見交換会で広がる、農福連携の取組

久慈地域では、農業の人手不足と障がい者の仕事確保に向けて、農福連携の支援に取り組んでいます。これまで、当地域の個別事例における効果等を確認できた一方で、実際の作業内容が限られていることや、長期間の作業受委託には至っていないこと等の課題がありました。

そこで、令和3年2月9日、これらの課題の解決に向けた「農福連携意見交換会」を開催しました。

はじめに、普及センターから令和2年度の取組について情報提供し、次に、岩手県社

会福祉協議会からは農福連携の解説がありました。

情報提供では、先進的な取組事例として、一関市の

「(有)かさい農産」と滝沢市の「駿河農園ベジスル」の事例を紹介した他、久慈市の

「みずき園」による、複数品目を組み合わせることで長期間の作業受委託が可能となった事例を紹介しました。

その後の意見交換では「農福双方の理解醸成が重要。」

という意見や「農福連携に取り組みたい。」という声があり、今後の具体的な取組の拡大が期待できます。



情報提供の様子



意見交換の様子

各種お知らせ

見直そう！農業機械作業の安全対策



これから農作業の季節です！

農作業事故が多発しています！



自分の作業について、今一度、見直してみましょう

新型コロナウイルス感染症に対する 農林水産業関係の支援策について

新型コロナウイルス感染症に関する県及び国の農林水産業関係の支援策につままして、岩手県ホームページに掲載しました。

下記 URL からご覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/sangyoukoyou/nourinsuisan/1029776.html>

～いわてアグリベンチャーネット掲載記事の紹介～

いわてアグリベンチャーネットでは、毎月、各地域の農業情報をお知らせしています。

【2月分の掲載記事】

- 産地紹介：《宮古》集落営農組織「ゆたか農産やまだ」による大豆生産等の取組（山田町）
- 人物紹介：《八幡平》人物紹介『すてきなあの人 八幡平市 工藤美月さん』

下記の URL、または右の QR コードからご覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>



久慈農業改良普及センターfacebook 公開中！

久慈寒次郎が、最新の情報や HOT な情報をお届けします。

下記の URL、または右の QR コードからご覧ください。



<https://www.facebook.com/岩手県久慈農業改良普及センター-581601925540151/>